

類別 整形用機械器具
一般医療機器 一般的名称 口腔・嚥下機能訓練器具(JMDNコード: 63278001)

嚥下機能トレーナー ドフィン

【禁忌・禁止】

医師等の適切な指示を得られない場合は使用しないでください。

適用(患者)

虚弱あるいは、意識不明の患者
直近 3 ヶ月間に頭部外傷を受けた
心疾患、高血圧、低血圧、直近 3 ヶ月間にめまいの既往がある
顔、唇、顎または頭蓋骨または食道の手術を受療した
急性副鼻腔炎および鼻出血がある
喀血、吐き気がある
鼓膜の断裂またはその疑いがある
気胸の家族既往がある
自然気胸
未治癒の肋骨骨折がある

【使用目的又は効果】

医師等の指導の下、口腔や嚥下の機能の低下のためのリハビリテーションに使用する。

【形状・構造及び原理等】

構造及び名称



本体: 152.5mm 長 × 47mm 幅 × 49mm 高 重量: 65g
マウスピース接続ポート(吹き出し・吸い込み: 外径 22mm)

<付属品>

ノーズクリップ、ネックストラップ

製品仕様

標準負荷モデル:

0~80cmH₂O @60LPM、±10%

低負荷モデル:

0~40cmH₂O @60LPM、±10%

動作原理

スプリングの張力でポートを閉鎖しているカラーボールを呼気の手で開かせることにより抵抗負荷をかけます。負荷レベルを調整することができるのでトレーニング成果を確認することができます。また、逆側のポートにマウスピースを接続することにより吸気筋の筋力トレーニングも行えます。

【使用方法等】

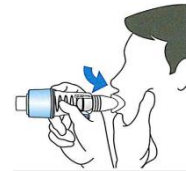
使用前の準備

1. 器具を点検し、損傷がある場合は器具を使用しないでください。
2. マウスピースを吹き込みポートに取り付けます。
3. 最初はレベル調節ノブを最小値に設定してトレーニングを行います。



嚥下機能トレーニング:

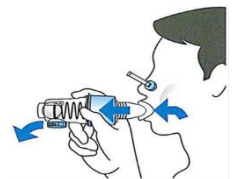
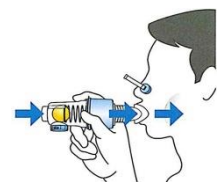
1. マウスピースを唇で覆うようにしっかりと咥えます。
2. 片方の手は器具を保持し、もう一方の手は(頬が膨らむのを防ぐために)頬をつかみます。
3. 鼻で息を吸い、2~3秒間息を止めてから器具を通して口から吐き出します。
4. 1回5呼吸のセッションを、1日5回、週5回のトレーニング実施が推奨されます。推奨強度レベルは最大吹き込み強度の75%にします。
5. トレーニング中はリラックスした状態を維持します。トレーニング中に数分間の短時間休憩を挟んでも良いです。



補記: 異なる強度レベルを設定してカラーボールを開かせた状態で息を吐き切ることができるように試行して最大強度レベルを見つけます。レベル調節ノブを低強度から始めて、困難または不快感なしでセッションを容易に完遂できる場合はより高いレベルがあなたの最適負荷です。トレーニングは肺に圧がかかるため、トレーニングを進める前に禁忌を参照してください。

吸い込みカトレーニング:

1. マウスピースを吸い込みポート(レベル調節ノブ)に取り付けて吸い込む筋力のトレーニングを行うことができます。
2. マウスピースを唇で覆うようにしっかりと咥えます。
3. ノーズクリップを取り付けます。
4. 息を吸うときは強く素早く、吐くときは倍以上の時間をかけてゆっくりと吐き出します。排気フローバルブで流量を絞って呼吸の時間比を調整しやすくなります。
5. 1回30呼吸のセッションを、1日2回、週3~5回のトレーニング実施が推奨されます。
6. 30回の呼吸を完遂できるかできないかの強度レベルが最良の負荷設定です。
7. セッションを容易に完遂できれば次のセッションで強度レベルを少し上げて良いです。



補記: カラーボールの動きを観察して、負荷に打ち克ち正しくトレーニングできているかどうかを確認することができます。

【使用上の注意】

重要な基本的注意

1. 医師等の指示に従って使用してください。
2. 副鼻腔閉塞または呼吸器感染症がある場合は、症状が治まるまで本品を使用しないでください。
3. 質問がある場合は、医師に相談してください。
4. 相互感染のリスクを最小限にするために、本品を家族や他のユーザーと共有しないでください。
5. トレーニングの過程で、痛みや不快感を感じた場合は、すぐにトレーニングを中止し医師に相談してください。
6. トレーニング時間とレベルについては医師等の指示に従ってください。
7. 呼吸運動が早すぎると過換気により気分が悪くなることがあります。そのときはトレーニングを停止し、症状が治まるまでしばらく休んでから、残りのトレーニングを再開してください。
8. 本品の使用に関して不安がある場合は、医師に相談してください。投薬やその他の治療プログラムを受療中のユーザーは、医師と相

談せずに現在の治療方針を変更してはいけません。

9. 食事の前後1時間は本品のトレーニングを行わないでください。

10. 嚥下機能トレーニングは他の治療法を代用するものでも、病気の
予防策としても使用することはできません。

相互作用

特定なし

【保管方法及び有効期間等】

保管方法

温度: -40～60℃、 湿度: 30%～95% (相対湿度)

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者: 株式会社東京エム・アイ商会

外国製造者: GaleMed Corporation (台湾)

販売元: オート株式会社